

2018年12月9日(日)

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会

資料4



聖マリアンナ医科大学

女性医師等支援の取り組みについて

男女共同参画キャリア支援センター

女性医師・研究者支援部会長

高田 礼子

通称名〔サン・オリバ〕

- ・ サン: ①【スペイン語・イタリア語でSan】キリスト教用語で、聖人のこと
②【sun】太陽
- ・ オリバ(オリーブ イタリア語でOliva):
①ノアの箱舟 オリーブの木は平和を表すもの
②ギリシャ神話 オリーブは『聖なる木』

学校法人 聖マリアンナ医科大学

男女共同参画キャリア支援センター 〔サン・オリバ〕

センター長：尾崎承一 学長

2015年4月
設置

男女共同参画キャリア支援センター運営委員会

委員長：伊野美幸 副センター長
(医学教育文化部門(医学教育研究)教授)

女性医師・研究者 支援部会

部会長：高田礼子
(予防医学教授)

保育・介護支援 部会

部会長：高橋恵
(ナースサポートセンター長)

就職・再教育 支援部会

部会長：仁木久照
(整形外科学教授)

勤務体制検討 部会

部会長：田口芳雄
(横浜市西部病院長)

本学においては、より一層の男女共同参画・ダイバーシティ推進のため、女性教職員のキャリア形成支援を軸に、女性医師・研究者の積極登用をはじめとしたダイバーシティ環境の整備を加速的に進め、働く女性の活躍促進とワーク・ライフ・バランスの推進や女性医師等の離職防止強化、出産・育児後の復職支援、介護支援などに対応していく。

男女共同参画キャリア支援センター ホームページ

<http://www.marianna-u.ac.jp/career/index.html>

聖マリアンナ医科大学

サイトマップ

お問い合わせ

学校法人サイト

男女共同参画キャリア支援センター

サイト内検索



センターの紹介

キャリア支援センターについて



ご挨拶

キャリア支援体制



女性医師・研究者支援



就職・再教育支援



ロールモデル紹介



保育・介護支援



勤務体制



講演会・勉強会・交流会



データ集



ニュースレター



国や県の制度

聖マリアンナ医科大学
男女共同参画キャリア支援センター事務局
〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

☎ 044-977-8111 (内線5840)

✉ メールでのお問い合わせ

Facebookもチェック



問合せメールでは、
仕事・修学上の様々な
相談・質問へ随時対応

ロールモデル
の紹介

講演会・
意見交換会
等の
お知らせ

育児・介護
制度、手続き
方法等の
紹介



神奈川県内の医学系大学では
“初”の認定

● 2015年4月
聖マリアンナ医科大学
男女共同参画
キャリア支援センター
〔サン・オリバ〕設置

● 2016年5月
〔内閣府〕
子育てサポート企業
「くるみん」認定

次世代育成支援対策
推進法(第13条)

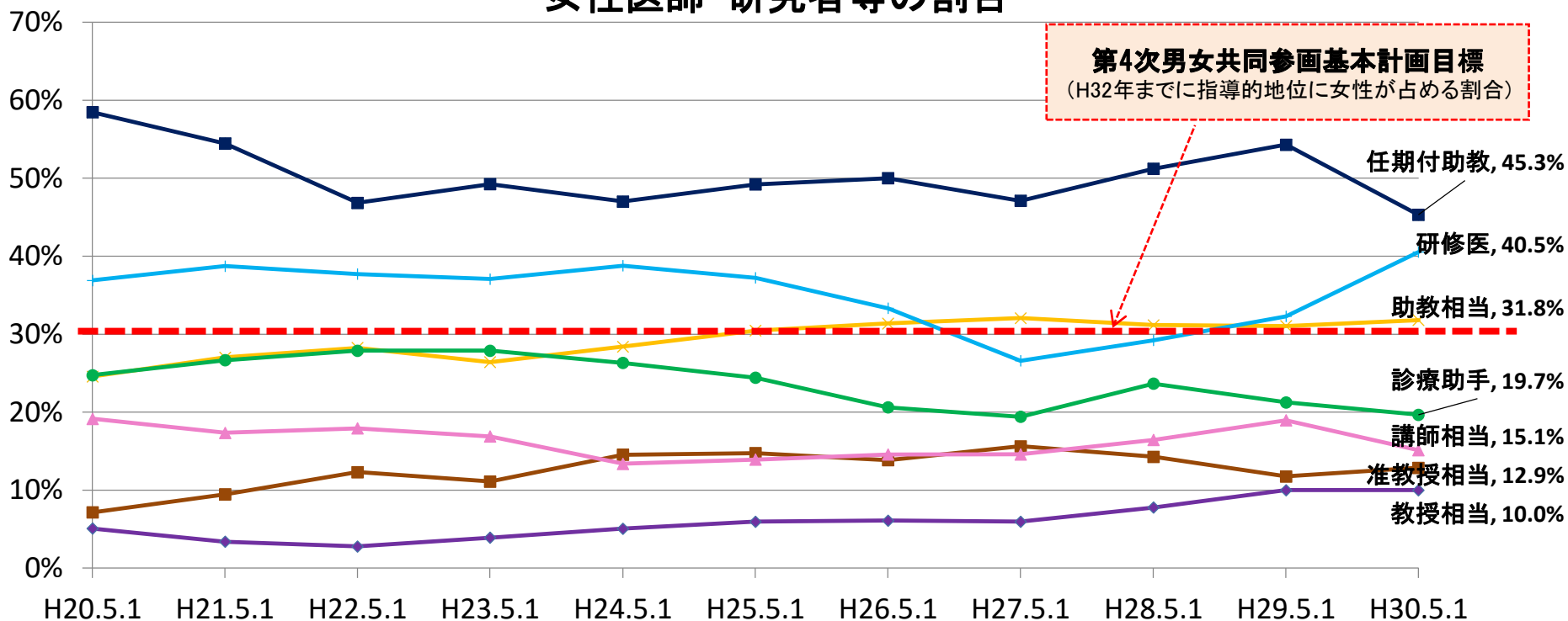
● 2018年2月
〔神奈川県〕
子育て支援事業者
「かながわ子育て
応援団」認定

神奈川県子ども・
子育て支援推進条例

本学の教員の現状：特に女性医師に関して

- 助教相当は31.8%(H30)に増加しているが、教授相当は10.0%で、他の上位職(准教授・講師)の割合も増加していない。
- 大学院生でもある診療助手の割合が19.7%(H30)と低いことから、学内の若手女性医師が研究を行い学位取得を目指すコースを選択していないことが窺える。
- これまでのアンケート結果から、出産・育児により仕事の継続が困難となり、優秀な女性医師・研究者がやむを得ず退職せざるを得ないケースがあることや、復職しても継続して勤務しづらい状況にあることが推測された。

女性医師・研究者等の割合



学校法人聖マリアンナ医科大学 行動計画（第2期）

【計画期間】 2018年4月1日～2023年3月31日（5年間）

次世代育成支援対策推進法に基づく 一般事業主行動計画

教職員が仕事と子育ての両立ができるよう、働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

【目標1】

働き方を意識した、出産・育児・介護に関する諸制度のさらなる充実、および取得しやすい環境の整備

【目標2】

男性の育児休業取得率7%以上を目標とし、育児参加促進を図る

【目標3】

次世代育成支援対策に関する事項

女性活躍推進法に基づく 一般事業主行動計画

女性が活躍できる雇用環境を整備し、さらに管理職として十分に能力を発揮出来るようにするために、以下の様に行動計画を策定する。

【本学の課題】

- 1) 理事・執行役員相当における女性の比率が低い(2017年5月1日現在、20名中2名)。
- 2) 研究者(特に上位職)における女性の比率が低い(2017年5月1日現在、教授相当10.0%、准教授・講師相当16.7%、助教相当31.0%)。

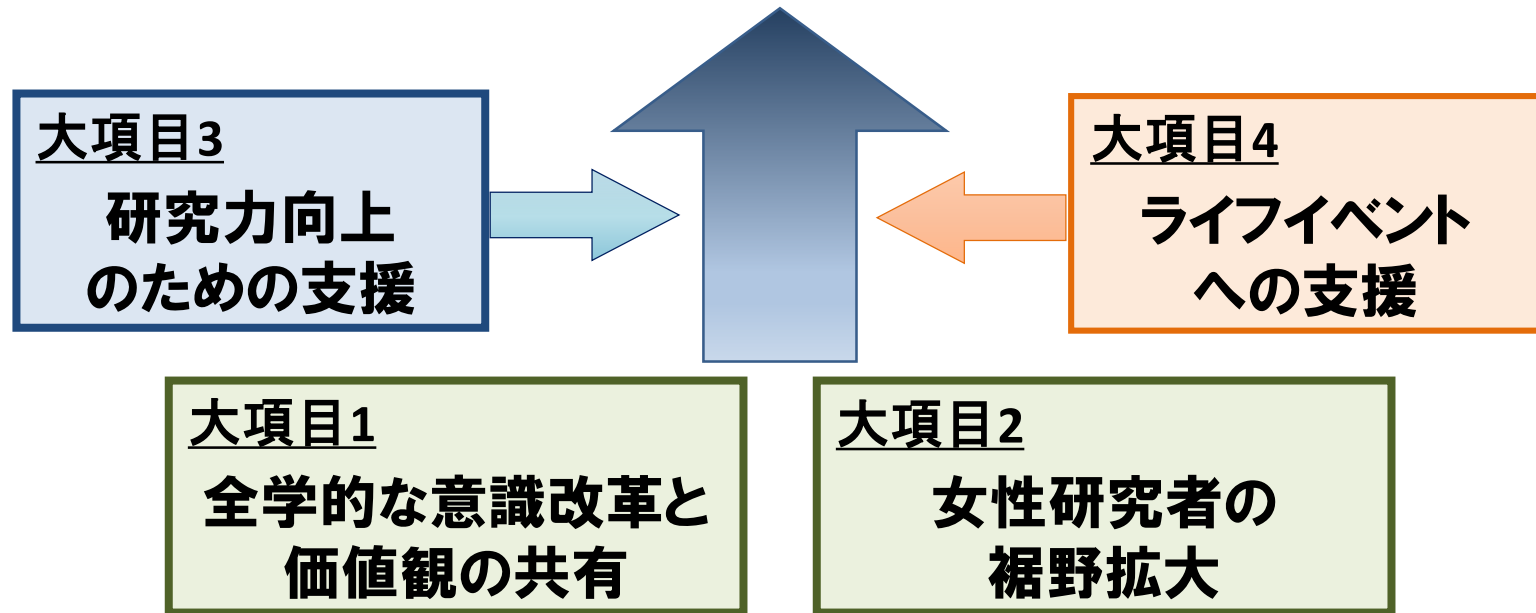
【目標】

- 1) 女性理事・執行役員相当を、現在より1名以上増やす。
- 2) 研究者における女性比率を、教授相当11%、准教授・講師相当18%、助教相当34%以上とする。

聖マリアンナ医科大学の3年間の 重点取組みテーマ「イノベーション7」

テーマ3：女性研究者の積極登用をはじめとした ダイバーシティの拡充

- 女性研究者比率と女性幹部比率のアップ
- より幅広い研究テーマの追求と各種支援プログラムの活用
- 共同研究活性化のための仕掛け・仕組みの構築



2. 女性研究者の裾野拡大 (1)

◆ 大学院進学、研究の意義・魅力をアピール

● 医学部キャリア教育：第2学年「実践医学」

- 外部講師：蓮沼 直子先生
(秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授)
- グループワークと発表討論、若手医師のロールモデル講演



● 医学部キャリア形成に関する講演：第5、6学年オリエンテーション時

- 男女共同参画キャリア支援センター委員が講演

● 大学院キャリア教育：総合教育科目(Ⅲ)「研究者としての生涯構想」

- 男女共同参画キャリア支援センター委員が担当

● キャリアパス相談：医学部父兄会懇親会時相談ブース設置 (年2回)

- 男女共同参画キャリア支援センター委員、大学院教学委員会委員、臨床研修センター副センター長が担当

● 研究とワーク・ライフ・バランスについての講演会

- MRC (Marianna Research Council)と共催 他



2. 女性研究者の裾野拡大 (2)

◆ 次世代へのアピール

- 女性医学生と女性医師・教員との交流会（昼食会）
- 女性医学生・研修医と女性医師・教員との交流会
- ロールモデル紹介：ホームページ、キャリア教育等で紹介
- 診療科情報提供：全診療科・専門医研修情報等を集約し、交流会等で広報



パンフレットスタンドのほか、
大型モニターでのスライドショー



仕事と家庭の
両立で工夫して
いること、今後の
目標、後輩への
メッセージなどを
紹介

ロールモデル紹介

女性医師	女性医師	女性医師
 大学院小児科医師 N先生(卒後20年)	 大学院産婦人科 A先生(卒後17年)	 川崎市立多摩病院 呼吸器内科 J先生(卒後16年)
看護師	作業療法士	薬剤師
 大学院看護師 Nさん(卒後17年)	 大学院リハビリテーション部 Sさん(卒後11年)	 大学院薬剤部 Aさん(卒後14年)
カップルドクター紹介		
 男性医師 K先生(卒後4年) 女性医師 A先生(卒後4年)		

ロールモデル紹介

ロールモデル紹介
女性医師 N先生
女性医師 A先生
女性医師 J先生
看護師 Nさん
作業療法士 Sさん
薬剤師 Aさん
カップルドクター紹介

カップルで働く魅力、
互いへの思い、今後
の目標などを紹介

3. 研究力向上支援による外部資金獲得率の向上

◆ 研究・論文作成支援による研究論文数の向上（2018年度新規）

- ダイバーシティ研究助成金 1件あたり50万円上限、2件程度
- ダイバーシティ英語論文作成費助成制度 1論文あたり5万円上限、5件程度

〔対象〕 ①または②の要件を満たしていること

- ① 女性の講師または助教（非常勤講師除く）
- ② 講師または助教で、ライフイベント(育児)中*であること
（男女とも可、非常勤講師を除く）

* 小学校3年生までのお子さんをお持ちの方

◆ 研究マインドの向上（2018年度新規）

- ダイバーシティ表彰(学術分野) 表彰数3名以内、賞状と副賞(5万円)

〔対象〕 上記①または②の要件を満たし、
筆頭著者または責任著者として優れた学術論文を公表した方

◆ 科学研究費学内講演会の開催（年1回）

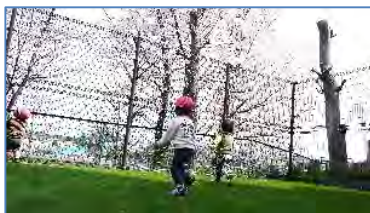
- ✓ 科研費等の研究費採択者による申請書作成等に関する講演

4. ライフイベントへの支援（1）

◆ 院内保育園 法人内5施設のうち、2施設に保育園を保有 ＊全職種が利用可能

- 一般保育 7:30～18:30（延長保育は19:30まで）
〔対象〕生後4ヶ月から2歳(満3歳を超えた最初の年度末)まで
- 病児保育 7:30～18:00
〔対象〕生後6ヶ月から就学前まで

- 大学・大学病院（1208床） 「内閣府企業主導型保育事業による助成」により、
保育施設および定員の拡充（2017年10月）
 - 一般保育 42名（0歳18名、1歳18名、2歳 6名） ＊以前は18名（0～2歳 各9名）
 - 病児保育 6名 ＊以前は2名
- 横浜市西部病院（518床）
 - 一般保育 27名（0歳 9名、1歳 9名、2歳 9名）
 - 病児保育 2名



4. ライフイベントへの支援（2）

ハード面の支援：環境整備・情報提供等

- ◆ **ベビーシッター利用補助**
内閣府「ベビーシッター派遣事業」
(2016年7月導入)
 - 主に医師が利用
(年間300枚程度の補助券利用見込)
- ◆ **搾乳室の設置** (2016年12月設置)
- ◆ **保育・介護支援ガイドの作成**
- ◆ **その他の情報提供**
 - 近隣の保育園、地域の学童支援情報等をHPに掲載



搾乳室



ソフト面の支援：保育・交流会等

- ◆ **短期学童保育** (2018年度～)
 - 2018年度：小学校夏休み期間
(4日間)
 - 2019年度：春休み、夏休み期間に
実施予定
- ◆ **子育て支援「小1の壁」交流会**
 - 2018年度：昼休みに2回実施
- ◆ **介護に関する講演会** (年1回)

夏季短期学童保育



聖マリアンナ医科大学と日本医師会女性医師バンクとの連携

